

栄町・ベル・フランセのレポート 2010年12月

栄町の巡礼者・ばおさんから、栄町・ベル・フランセをいただきました。 いよいよ栄町レポートも39本目となり、いよいよゴールが見てきました。

大衆店？ 格安店？

前回はずしたにも関わらず、懲りずにまた新規開拓してきました。 今回はベル・フランセ。 90分25Kで、吉原なら格安店に分類されるでしょう。 栄町では李白・ペガスの次に料金設定が高く、マットがデフォという意味で はすくなくとも大衆店に分類しておきたいお店です。 また、シルクハットとともに、系列店を持たない独立系のお店でもあります。

すごく感謝w

師走に入った栄町。午後7時を回って、相変わらず閑散としていますw なんか、本当に大丈夫？と聞きたくなるくらいに。 元気のありそうなお店は基本的に呼び込みしていないですし（基本、予約が 主体になっている）呼び込みしようにも、駐車場利用の一般の人も多いため、かなり控えめ・・・というより、あきらめているようなw 重役室とあんみつ姫、かまくら御殿と雑居ビルのフィリピンパブ？ががんばって声かけしていますが、中途半端な人通りと灯かりの少なさがますます寒さをかきたてます。 そんな閑散とした中、あきらかに店に向かう人しか通らない細い道を通していき、店の前で玄関を指差して「すぐいける？」なんてこちらから声をかけたものですから、まるで救世主のような感じで対応されます。 玄関先にいたボーイ氏（本職w）に促され、店内のカウンターへ。「お寒い中ありがとうございます。ご予約ではありませんよね。」なかなか丁寧に挨拶されます。 カウンターの写真は3枚。いずれもベテランばい感じのラインナップが並んでいます。「後は予約が入ってしまして、2時間近く後になってしまうんですよ」と先に言われてしまいます。 ネットで写真非公開の嬢の写真もあって興味を引いたのですが、いずれもサービスはしっかりできるの事で、特にお勧めがないようなので、直感できれい系のおねーさんを選択。 受付の正面にあるラウンジのような待合室のソファでのんびりと待ちます。 店の内装は、よくある洋風で見かけは高級感があるタイプのもの。 個人的には落ち着いて一番好きなタイプです。 テーブルの100円ライターにわざわざプラスチックラベルを貼って持ち出し防止しているのはご愛嬌でw

ごたいめーん

待つこと5分弱、そろそろかなあと思ったところでご案内。 エレベーター前で、白いドレスの細身の嬢とご対面。 うん、なかなか綺麗な人です。お年のほうはそれなりに行ってそうですがw 深津絵里から芸能人オーラを抜いたような印象です。「寒いですね～」などと挨拶をしながらお部屋へ。

のーんびり

お部屋のほうは栄町標準よりやや狭いかな？ 洗い場に9連マットが余裕で2つ置けるのですが、特にどこかが広いということはなく、吉原でも広いお店ならありそうなサイズです。 浴槽が作り付けのものにプラスチックのものを上からかぶせていたのが記憶に残ります。（たぶん、水漏れなどがあって、直すときに使用水量節約で上からつけたの でしょう）上着を

かけてもらってから、お茶をのみながら、のんびりとお話になって しまいます。 とても聞き上手な嬢だったこともあって、ちょっと話込んでしまいそうになったあたりで、そろそろお風呂に入りましょうと促されます。 アシストしてもらって服を脱ぎ、洗い場のほうへ。 気遣いも良く、丁寧に洗ってもらってから浴槽へどっぽん。 潜望鏡をしてもらいますが、普通のレベル。 正直、2回戦はどうか～というコンディションだったので、マットでは頑張らないようにしようとか考えてましたw

予定通り？

準備ができてマットへ。 結構上手なんですけど、嬢も最初からそのつもりなのか、あまり刺激的な攻撃はしてきません。 指なめとか一通りのプレイはあって、こちらの息子も元気ですが、仰向けになって合体してからも激しく攻めてきません。「どうする～？このまま頑張る？ベットの時間もあるけど？」ということで、くっついたまましばらくローションでペタペタ遊んでからの ベットをリクエスト。「回復が遅くなってね～」と言ったら「え～、まだ若いでしょ～？結構強そうだけど～」とお世辞を言われますw マットを片付け、お風呂から上がってお茶を飲んでから「さ、続きをしましょう」と言われ、「さーて、本性出すぞー」と冗談めかして言いつつ再開。まずは息子を元気にしてもらってから攻守交替。 今度は嬢もこちらのテンションを上げるように、なかなかいい声で鳴いてくれます。 そんなこんなでお互いのテンションが上がりきったところで放出して終了。 少しベットでのんびりしてから、のんびりと上がりの用意をします。

上がり

特に催促コールもなかったのですが、ほぼ時間通りか気持ちオーバーした時間で上がりです。 玄関まで嬢に見送られて外へ出ます。 このお店からだ、出た後の道によっては、他の店の前も通らずに駅へと向かえるのは良いのか悪いのか。 さらっと一風呂浴びた後という感じで千葉駅へと向かいました。（風は冷たかったんですがw）

補足

さらっと一風呂と書いたように、正直特にコメントがありませんw 前回はそうでしたが、本当にごく普通としか言いようがなく、裏を返すには インパクト不足、かといってハズレではない。（栄町レベルから考えれば、ですが） そんな感じです。 吉原だったら、今度は別の店を試そうと考えてしまう感じ ですね。 悪い店ではないので、何かウリが一つほしいなぁと感ずるお店です。

ロビンの感想

無難といえいいのでしょうか？ でも、さらっと遊んではずさないというお店は貴重かもしれません。 毎回冒険はしんどいですからねw